

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	・グループホームの玄関及び、居室の窓、リビングの扉が安全を考慮し施錠されている。施錠されていることで、職員付き添いのもとでないと利用者が自由に出入りできない。	・グループホームでの生活を、自己決定、自由な行動ができるものとしていき、利用者の思いを尊重し、寄り添える介護を行っていく。	・施錠していることが、利用者の自由な行動を制限することに値することを、職員全員で理解し、自己決定、自由な行動が出来るよう支援していく。	6ヶ月
2	1	・グループホーム職員みんなで考えた目標(理念)、を掲げる必要がある。	・次年度の事業計画の大目標を職員から聞き出し、その目標に向かっていけるようにする。	・毎月のグループホーム内の会議で職員からの意見や、実行したい目標を聞き、半年を目処にまとめていく。	6ヶ月
3	2	・グループホームにボランティアさんがこられることが少ない。	・地域のボランティアさんにグループホームに来てもらい利用者と交流を図る。	・運営推進会議で地域の情報を聞いたり、デイのボランティアさんをグループホームにも来ていただける様、積極的に声掛け等行なっていく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。